

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

※大会に参加される選手、選手関係者各位

新型コロナウイルス感染防止の対策を講じながら、大会を運営していきます。参加者、選手関係者の皆様にも、大会を安全に開催できるようご協力をお願い申し上げます。

●基本的事項（厚生労働省からも発表されています）

- ・三密（密閉、密集、密接）の回避（飛沫感染の予防）
- ・手洗い、アルコール等によるこまめな手指消毒（接触感染の予防）
- ・マスクの着用（飛沫感染の予防）
- ・ソーシャルディスタンスの維持

●大会前 2 週間において、以下の事項が 1 つでも当てはまる方は、試合への参加及び来場は認められません。

- ・平熱を越える発熱（おおむね 37.5 度以上）がある場合。
- ・咳、のどの痛みなど風邪の症状がある場合。
- ・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある場合。
- ・嗅覚や味覚の異常がある場合。
- ・体が重く感じる、疲れやすい等。
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触があった場合。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ・新型コロナウイルス感染症対策に依拠していただけない場合。
- ・その他、主催者として参加を認められないと判断した場合。

●参加者が遵守すべき事項

①上記の事項に該当する場合は、自主的に参加・会場への来場を見合わせる（大会当日に確認を行います）

②大会の 2 週間前より検温にご協力いただき、別紙 1 の健康チェックシートを試合初日にご提出ください。試合 2 日目以降自宅・宿泊先を出る前に検温していただき、別紙 2 の健康チェックシートを来場毎にご提出ください。会場で検温と健康チェックシートを確認させていただきます

③マスクを着用すること（運動時以外は常時着用）

④こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

- ⑤社会的距離（できるだけ2 mを目安に最低1 m）を確保すること
- ⑥会場及びその周辺で大きな声で会話、応援等をしないこと
- ⑦感染防止のために大会主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- ⑧会場の混雑を避けるため、選手1名につき帯同者1名までとします。帯同者の方も健康チェックシートをご提出してください。
- ⑨厚生労働省の「COCOA システム」の利用を推奨します
- ⑩施設の注意事項を順守してください。**更衣室は感染リスクが高いので、使用を禁止します。**
- ⑪試合終了後は、勝った選手・チームは結果報告をし、速やかに会場を離れてください。負けた選手・チームは結果報告がありませんので、速やかに会場を離れてください。

●選手の試合中の遵守事項

- ①十分な距離の確保
 - (ア) ポイント間（ポイントとポイントの間）は対戦相手、パートナーとの距離を2メートル以上確保すること
 - (イ) 試合の始めと終わりの挨拶は握手でない方法で行うこと
 - (ウ) チェンジエンドの際も対戦相手、パートナーとの距離を2メートル以上確保すること
- ②ラケットや自らの試合で使用するボールなどプレーに必要なもの以外にはコートサーフェスも含めできるだけ手で触れないこと
- ③タオルの共用はしないこと
- ④タオルは手が触れる面と顔に触れる面を使い分けること
- ⑤プレー中は手で顔に触れるのを避けること
- ⑥ラケット・水筒をはじめとする用具をパートナーや対戦相手と共有しないこと
- ⑦咳、くしゃみの際は腕で口を覆うこと
- ⑧唾や痰を吐くことは極力行わないこと

備考：テニスは社会的距離が確保できるスポーツですので、セルフジャッジ5原則は、通常通り適用されます。

●試合日以降

・大会出場中に濃厚接触者としての認定を受けた場合や新型コロナウイルスへの感染の判明、もしくは出場後2週間以内に新型コロナウイルスへの感染が判明した場合は、大会主催者（毎日新聞社事業本部毎日テニス選手権事務局）まで必ずご連絡をお願いいたします。

●最後に

大会参加者は、新型コロナウイルス感染症対策に対し、理解し同意したものとします。なお、遵守していただけない場合や大会期間中に発症された方がいた場合は、他の参加者及びスタッフの安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めたり、大会を中止する事があります。

以上
第99回毎日テニス選手権
大会本部